



風

■編集・発行／やしおママ倶楽部 〒340-0815 八潮市八潮2-18-8 Tel.048-994-6000

新春特別
座談会

改革行動派 政治、埼玉県、未来を語る!

大山しのぶ・小島のぶあき・鈴木よしひろ

激動する政治の中で、改革行動派・大山しのぶ県議は2010年をどのように考え、どう行動していくのか? 大山県議と肝胆相照らす盟友・小島のぶあき・鈴木よしひろ両県議と3人で座談会を行いました。その抜粋をご紹介します。



今、国民は不安を感じているのではないか—大山しのぶ

●今の政治状況をどのようにとらえていますか?

大山県議 政治のチェンジなんだけれど、今は、混乱状態ですよ。国民の皆さんは本来、自民党と民主党が拮抗することを望んでいたのではないかと思います。こんなに民主党が勝つとは国民は思わなかったのではないかと。それがあれよあれよという間に民主党が大勝してしまって。そこで、これに期待しようというのが国民の気持ちだったと思いますよ。

しかし、実際になってみると普天間基地、景気対策、高速道路無料化と課題が次々出てきましたが、うまく動くかどうかはわからない。これからどうなるのかと不安になっているのが国民だと思いますよ。

政権交代は、政治家にとって考え直す良い契機—鈴木よしひろ

鈴木県議 自民党は、先の選挙では、「子ども手当」を
【2,3,4,5面へ続く】

CONTENTS

新春特別座談会	1~5
新年報告会のお知らせ	5
12月定例会のご報告	6.7
プロフィール・ご意見募集	8

埼玉県議会議員

大山しのぶ

新春特別
座談会

改革行動派 政治、埼玉県、未来を語る!

大山しのぶ・小島のぶあき・鈴木よしひろ

はじめとした民主党のリップサービス合戦に乗ってしまった。民主党の土俵に乗ってしまった。そこで自民党的のやりたい政策、出したい政策が出せなくて、自分の土俵で勝負ができなかった。前政権政党としていろいろなことを考え直す良いきっかけになったことは確かです。

小島県議 国民が自民党にNOといった。国民の考えることと、国の方向がかけ離れてきて、それを取り戻すことができなかった。国民との信頼関係がなくなってきた。本当は政治家は将来を考えたら、欲しいものを与えるだけではない。ここは我慢しなければいけないということを言っ、それを聞いてもらえるだけの信頼関係を国民と築くことができなくなってきた。

●埼玉県現状と課題は何でしょう?

大山県議 埼玉は地の利としては良いところなんです。高速道路も放射状に全ては入っているし、圏央道もできる。外環も走る。そういうことを考えれば地の利がある。経済的にも東京があるから有利だと思う。他県を見れば雇用がない中、隣の東京にいけばまだまだ仕事がある。逆に言えば東京のベッドタウンということで人口は増えている。ただし、今後の課題は県民の平均人口が若いだけに高

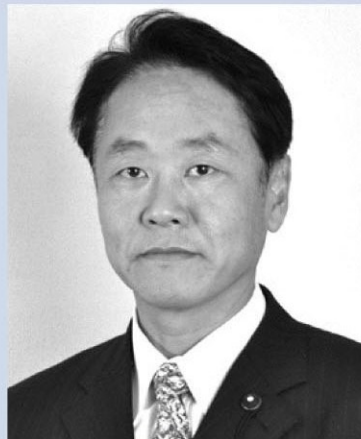
齢化のスピードがものすごい。これは埼玉にとって重荷になる。今、手をつけなければいけない喫緊の課題だけど、周囲にあまり危機感がない。

鈴木県議 その問題は大山さんがよく言ってますよね。今までこういった課題を先送りしてきたからね。埼玉は災害が少ない。東京に依存している。東京に行けばモノも買ってくれるし、仕事もある。財政的には厳しいけれども、それもまだ他の県にくらべれば良い方だから。でも次の発展のために、ここらでもう一度、戦略を見直さなければいけないという気がしますね。

埼玉は市町村が力をつけること、政令市との位置づけが課題

小島県議 埼玉県は全国で5本の指に入る県だし、底力のある県だけれど、このままで大丈夫だろうというのんびりした性格の県だと思う。景気対策などやるべきことはやっているし、市町村の連携もそこそこうまくいっていると思う。ただ、これから人口が減っていく中でどうやって現

小島のぶあき・鈴木義弘両県議のプロフィール ※大山しのぶは8ページ



小島のぶあき

●南第12区(さいたま市岩槻区)選出(現在3期)●1965年9月5日生まれ(44歳)●議会運営委員長●産業労働企業委員●少子・高齢福祉社会対策特別委員●岩槻市立河合小～岩槻市立城北中学～埼玉県立杉戸農業高校～人間総合科学大学中退●埼玉県議会議員秘書～平成12年埼玉県議会議員選挙初当選



鈴木よしひろ

●東第11区(三郷市)選出(現在3期)●1962年11月10日生まれ(47歳)●警察危機管理防災委員●暮らしの安心・安全対策特別委員長●三郷市立吹上小～栄中学～日本大学第一高校～日本大学理工学部工業化学科卒業●参議院議員・(故)土屋義彦秘書～平成11年埼玉県議会議員初当選



小島のぶあき 大山しのぶ 鈴木よしひろ

状の埼玉を維持していくのか。市町村が力をつけないとなかなか難しい。私のところは、県と同格といわれる政令市(さいたま市)があるため、この位置づけが必要。国の問題だけど、県と政令市の協力をいかに円滑にするかが課題です。

これから埼玉に直撃する急速な高齢化にどう備えるか。—大山しのぶ

大山県議 これから福祉だって、介護だって、ものすごくコストがかかってくる。結局、日本は世界の中で高齢化がものすごいスピードで行われ、それに準備しなきゃ大変ですよと言いながら、なかなか、難しかった。埼玉はこれからこの日本の課題がここでもう一回繰り返されるわけだから。今のうちに知恵をしぼって準備しないとイケない。やはり人口構造を若い人、中堅、壮年というのが均等になっていないと、単純に高齢化社会になりましたから、お年寄りも働きましょ。働けなくなったら国に頼りましょということとは出来ないと思う。他所から移り住んでもらうということも必要。

小島県議 教育特区をつくるのはいいと思う。ある市に視察に行った時にその学校は非常に話題になっていて、その学校に行かせたいからということでわざわざ家族が引っ越してくるという現象が地域で起きている。親が引っ越してきて住みたがるようにするには、やはり教育。環境より教育だと思うよね。

大山県議 自分たちの子どもをどういう風に育てたいかというのはあるよね。希望を聞くと、子育てがしやすい。学校の教育が良い。病院が近くにある。環境がしっかりしているというのがだいたい4本指に入るよね。子供が生

みやすい、育てやすいが大きいね。

小島県議 お父さんの通勤圏は関係ないんだ(笑)

大山県議 子どもがいれば地域の中でいろいろな活動に参加するし、お互い我慢しあうこともあるけれども、子どもがいないとそういう接点がない。そう考えると、労働活力や経済問題もそうだけれども、コミュニティの持続性や同質性を考えたときに子どもがいるということは非常に大きなまとまりを生むということもありますよね。

小島県議 世代の継続性、地域の継続性も課題ですよ。親の姿をみて、子どもが育つ。そこで地域の伝統文化や風習も伝わる訳じゃないですか。



埼玉県議会議員

大山しのぶ

新春特別
座談会

改革行動派 政治、埼玉県、未来を語る!

大山しのぶ・小島のぶあき・鈴木よしひろ



財政出動をしてもらう時。 利子補給の制度を考える…

—鈴木よしひろ

●地域の活性化策については、どう考えますか?

鈴木県議 私は今は財政出動をもらう時だと思えますよ。住宅を建てて貰うということが波及効果が大い。何でみんな住宅を買わないかと言えばやはり、いつ首切られるかわからない、給料減らされるかわからないという中でローンが組めない。

財政出動は道路つくれとか、何かつくれとなるんだけど、その金利を中小企業に貸し出すのと同じように住宅ローンを2%とか1%補填しちゃうという仕組みがあっても良いと思うし、そこに県産材の木材をつかったときにまた0.5%補填しちゃうということになれば、県予算約1000億の1%なら10億ですから、それ位の予算組むから借りてやれよといえば、銀行も潤うだろうし。

大山県議 私のところは中小企業が多いので、情報力ですよ。大手が持っているような情報力を中小が持てるようにしてあげることが必要。例えば今度のガソリンの暫定税率の話もそう、いつ頃こうなりそうかという話は大手は持っている。だけど小売り側はわからないから高いとき

に買ったものを安いときに売れということになってしまう。商品開発にしても、何にしても、なるべく情報を地域で共有してあげられるようにしてあげるの重要だと思う。情報は今やお金を生み出す。大手と中小の情報ギャップを埋めてあげる政策が重要です。活性化は地元でどれだけそれを活かせるかでしょうね。

あとは国の景気対策と県の景気対策をどれだけ連携させていくのかと言うことになると思う。リンクしなきゃいけないところだけでも。今、国は迷走状態だから。県が自分でやることは基金とかでやるけれども、やはり限られてしまいますから。ただし、国が遅い分、県はスピードを持って行うことが大事ですね。

グローバルな時代 だからこそ、地域資源の 発掘が必要 —小島のぶあき

小島県議 私の場合は、グローバルな社会だからこそ逆に、地域の資源を発掘して活用することが活性化につながると思っているんです。

岩槻は、小さい商店ばかりだけれども、これはひとつの成功事例になりつつあって「まちかど雛巡り」というのをボランティアグループがはじめたんですよ。これはまちの



中の床屋さんとかそば屋さんに古い雛人形をちょっとずつ置いておく。それを地図におとして、一日かけて史跡とともに巡るんですよ。今では1か月で20何万人とか来るようになったんですよ。身近な資源を違った切り口でやればまだまだ方策はあるのかなと思う。

●今年は何を中心に政治を行いますか？

鈴木県議 政治家がこういう国にしたいと言って役人に対峙しないと駄目なんだよね。いい国にしてくれと役人に言うだけじゃなく、こういう教育を受けさせたい、こういう社会にするというのがあって、役所のやっていることが違うんじゃないかと言えるのに、今はほとんどそうじゃないんだよね。議員に専門性がなければわからないじゃないですか。やはり政策が重要ですよ。

小島県議 失われた信頼をどう取り戻すかしかない。我々は自民党だから支持されるわけではなく、個人で選ばれるわけだから。そこを踏まえて、基本をきちんとやっていく。それは現状批判だけじゃなく、悪口を言うのじゃなく。自らの信念と意思をそ今まで以上に、ひとり一人に訴えていく。



**自らの資質・政策を磨き、
新しい政治に向け、
さらに活発に活動する**

—大山しのぶ

大山県議 もっと議論を戦わせてぶつけ合わないと。各自、俺はこういうことをやりたいということを県民、市民にしっかりと言うしかない。そうすると個人の資質と魅力と政策で闘う。それ自体、自民党という政党の話ではない。自分たちから発信して変えていかないと。待っていても、それじゃ変わったことにならない。この変化と混迷の中で、新しいものが生まれてこなければ、政治それ自体が駄目ということになってしまう、そういった意味で今年は私たちにとっては、さらに活発に活動をしていこうと思っています。

●本日はありがとうございました。



声を聴きたい! 伝えたい! 皆様、是非、ご参加下さい。

大山しのぶ県議が、埼玉の今、政治の現状を語ります。

大山しのぶ新年報告会 ●日 時/1月8日(金) 19:00~
●会 場/八潮メセナ

お問い合わせは
大山しのぶ事務所へ

TEL.048-994-6000

12月定例会のご報告 12月2日(水)~12月22日(火)

補正予算 138億4,345万8千円を決定。

累計額は、1兆8,283億7,561万円に。

埼玉県議会12月定例会は、平成21年12月定例会は12月2日(水)から12月22日(火)まで開催されました。この議会では「平成21年度埼玉県一般会計補正予算(第4号)」をはじめとした重要案件が審議されました。本稿ではその概要を報告します。

県内情勢を踏まえ、厳しい財政状況の中、さらに努力

企業の景況感の一部改善を示してはいますが、昨今の経済雇用情勢を見ますと、依然として県内の中小企業は厳しい状況が続いています。また、県内の9月の有効求人倍率は0.35倍と過去最低の水準となり、雇用情勢は深刻な状況にあります。

産業は、埼玉県の豊かな未来を築く源泉であり、雇用の安定は暮らしの基盤であることは言を待ちません。

埼玉県の財政も厳しい状況にありますが、手をこまねいてはいられません。引き続き、県内経済の活性化とセーフティネットの充実に向け、さらなる施策の推進が必要です。

一方、「今」への対応だけでなく、「将来」を見据えた埼玉県の未来の活力につながるような産業政策や人材

育成など、中長期的視点に立った未来への投資にも積極的に取り組むことも忘れてはなりません。

こういったことを勘案して、この度の補正予算は編成されました。

医療施設の耐震化、地域医療再生への基金を設置

今回の補正予算では、「埼玉県医療施設耐震化基金」と「埼玉県地域医療再生基金」が設置されます。これらは、国の交付金を活用し、新たに医療施設耐震化基金及び地域医療再生基金を積み立て、今後、この基金を活用し、耐震化の促進や周産期・小児救急医療体制の強化、地域における医療連携システムの構築などを進め、県民の安心・安全を高めることが期待されます。

県民生活を守るセーフティネットの充実も図る

また、新型インフルエンザワクチンの優先接種の対象となっている方が、経済的負担を心配せずワクチンを接種

できるよう、低額所得者に対する軽減措置も実施されます。

さらに、経済不況を背景とした生活保護受給者の増加への対応や、中小企業向け制度融資の利子補給金の増額などにより、県民生活を守るセーフティネットをさらに充実します。

そのほか、国の第一次補正予算に対応して、定住自立圏における民間事業者の取組に対する支援や、市町村における全国瞬時警報システムの整備を進めます。

一方、歳入のうち県税収入については、企業収益の減少などに伴い、法人二税を中心に大幅な減収が見込まれます。この



ため、今回の補正予算において、307億7,100万円の減額を行うこととなりました。

なお、県税の減額に対する財源の補てんについては、減収補てん債を活用することとし、事業の執行に支障を生じないように措置をとることとなっています。

この結果、一般会計の補正予算額は、138億4,345万8千円となり、既定予算との累計額は、1兆8,283億7,561万円となります。

また、その他の議案として公立大学法人埼玉県立大学の設立に伴い、必要な事項を定めるとともに、規定の整備を行う第140号議案から第142号議案。流域下水道



事業に地方公営企業法を全部適用するため、規定の整備を行うもの第146号議案及び第147号議案。県立学校の教職員用及び授業用のコンピュータを取得するための第155号議案及び第156号議案(ノート型パーソナルコンピュータ、8584台)。県の「公の施設」について埼玉県長瀬総合射撃場・埼玉県立児童養護施設おお里・上尾運動公園など5件の指定管理者の指定を行う第160号議案から第164号議案。市町の廃置分合について、加須市、騎西町、北川辺町及び大和町を廃し、その区域をもって加須市を設置することについて、関係市町から申請があったため、地方自治法第7条第1項の規定に基づき、議決を求める第165号議案などが可決されました。



12月補正予算の主な内容

●埼玉県医療施設耐震化基金の積み立て【新規】 ……33億5734万4千円

災害時に重要な役割を果たす災害拠点病院等の医療施設の耐震化を図るために実施する事業の推進に要する経費の財源に充てるため、基金を設置するもの

●埼玉県地域医療再生基金の積み立て【新規】 ……50億962万5千円

地域医療に係る課題を解決するために県が策定する地域医療再生計画に基づく事業の推進に要する経費の財源に充てるため、基金を設置するもの

●新型インフルエンザワクチン優先接種に係る低所得者の負担軽減など【新規】 ……38億4995万円

●特定疾患対策の充実(助成対象の追加) ……2億5804万9千円

●生活保護扶助費の増額 ……10億8243万6千円

●精神保健医療費の増額 ……2億8874万5千円

●離職者等の一時的な居住場所の確保【新規】 ……629万6千円

●制度融資に係る利子補給金の増額 ……9億9155万6千円

●定住自立圏における民間事業者の取組に対する支援【新規】 ……3億1140万円

●全国瞬時警報システム(J-ALEART)の整備促進【新規】 ……4億4612万円

●台風18号による災害の復旧(河川、農業用施設) ……6993万7千円

